

羅臼町様への実証授業プロジェクト報告会を開催させていただきました！

- ◆羅臼町教育委員会(山崎守教育長)様のご理解とご協力の下で、今回弊社が行った実証授業の報告会を開催させていただきました。また、実証授業の報告だけでなく、新しい教科書の多くで取り入れられる QR コードについても説明させていただきました。
- ◆今回、このような貴重な機会を与えてくださった羅臼町教育委員会様ならびにご参加してくださった羅臼町立羅臼小学校様と羅臼町立春松小学校様に心より感謝申し上げます。報告会の概要は以下の通りとなっています。

実証授業プロジェクト報告会の概要

【場所】

羅臼町立羅臼小学校 多目的ホール

【日時】

2019 年 4 月 25 日(木)午後 4 時 00 分～4 時 50 分

【参加者】

羅臼小学校、春松小学校教職員：合計 26 名

羅臼町教育委員会：教育長、教育指導主幹、課長、係長

【内容】

- ・新学習モデル実証授業報告
- ・ICT 活用の授業の教育的効果について
- ・令和 2 年度からの新教科書の ICT 活用のポイントについて ※QR コードの活用できる環境整備について

新しい教科書の多くに QR コードが取り入れられます！

- ◆来年度から全面実施される学習指導要領に基づく新しい教科書の多くに QR コードが取り入れられます。現在の教科書でも一部取り入れられていますが、新しい教科書では、より一層その活用範囲が広がっています。特に、小学校でも実施される英語の教科書では、QR コードさえ読み取れば「いつでも、どこでも、誰でもが」ネイティブの英語を聞くことができます。つまり、ネットにつながる環境があれば、英語の教科書をもとにした英語の家庭学習も可能となるわけです。学校と家庭とのつながりを意識した「学び」が成立しやすくなります。



- ◆こうしたことを、現在、各教科書会社がホームページ上にアップしているサイトを使用しながら説明させていただきました。新教科書を用いて説明したことで参加された多くの先生方の興味・関心を惹いたように感じます。いよいよ来年に迫ってきた新学習指導要領の全面実施、それに対する準備が各学校では急務ですから、一番関心のあるところだったかもしれません。弊社としましては、このあたりをもっと丁寧に、しかも参加された全ての先生方が体験できるようにした方が、より有意義な報告会になったのではないかと思います。弊社の課題です。

子供一人一台の携帯端末による環境整備は教育的効果が高い！

- ◆今回の報告会の中では、実証授業におけるタブレット一人1台導入の教育的効果の発表に関して、うなずいている方々を多く見ることができました。やはり、参加者の皆様方にとっても、ICT 機器を導入することで本当に教育的効果が高まるのだろうか、と半信半疑の方もいらっしやったのではないかと思います。今まで通りの黒板やチョークがあれば大丈夫と思われていた方でも、ICT 機器導入が今まで以上に効果があるということを理解していただけたのではないのでしょうか。

◆ただ、ICT 導入の環境整備ステップの話など、現場に立つ先生方にはピンと来ないような話もあり、弊社の説明の工夫等が必要であったと思います。また、教育委員会様や現場に立つ先生方のニーズは様々であり、それらのニーズにこたえるような報告会・研修会を組み立てることの大切さを教訓として学ぶことができました。また、山崎教育長様からは、もっと体験にこだわった方がよいという貴重なアドバイスをいただきました。今回の報告会をもとに、より各教育委員会様や学校現場に立つ先生方をサポートしていけるようにしていきたいと考えています。



先生方をサポートするカスタマイズ型の研修会を開催できます

◆現在、弊社では各教育委員会様や現場に立つ先生方をサポートするために、ICT を活用した授業等の情報提供や研修会等を計画・準備しております。例えば、報告会の反省を踏まえ、できるだけ体験型の研修会になるように、または各教育委員会様や学校様のニーズに沿える形での研修会になるように、カスタマイズ型の研修会をご用意しています。ICT を活用した授業に関する 17 講座とプログラミング教育に関する 6 講座から、それぞれのお客様のニーズや時間に合わせて講座を組み立て、少しでもお役に立てる研修会になることを目指しています。

◆また、民間企業ならではの研修会になるように、ICT 機器や携帯端末等を実際に触れ、体験できるような研修会になるように計画しております。教育委員会様の中では、どのような ICT 機器を導入したらよいかなどでお困りのところもあると聞いております。そうした教育委員会様も事前に、実際に実物に触れてみることで、少しでも機器選定や ICT 機器導入のお手伝いをしたいと思っておりますので、どうぞお気軽にご相談いただければと思います。

	講座名	主な内容	所要時間	形態	教材
ICT を活用した授業に関する研修項目					
1	実証授業の成果と課題	・ccs が取り組んだ実証授業の成果と課題を伝えることで、ICT 導入の教育的効果を紹介する。	15 分	説明	・報告書 ・モニター ・プレゼン ・動画
2	ICT の導入と活用の課題と解決策	・現状における ICT の整備状況における各学校の課題と解決策についてアンケート調査から紹介する。	10 分	説明	・プレゼン
3	ICT 環境整備のポイント	・予算やねらいに応じた機種選定や環境整備のポイントについて紹介する。	15 分	説明	・プレゼン ・各種機器
4	ICT 整備の実例	校内インフラの整備・セキュリティ確保の仕方、予算確保のアイデアについて解説する。	30 分	説明	・プレゼン
5	ICT 化サポートの実例	ICT 支援員の役割や業務内容を理解してもらうとともに、全国の先進地における ICT 支援員の実例について紹介する。また、ICT 支援員に代わるサポートの仕方について協議する。	30 分	説明 協議	・プレゼン
6	ICT 活用デモ	日常の学習に活かす ICT を活用した授業の実例を模擬授業形式で示す。	30 分	模擬授業 解説	・プレゼン
7	教育情報化概論	教育の情報化が目指すことに関する基本的知識について講義する。	15 分	説明	・プレゼン
8	ICT 教育の最新動向	・ICT に関する国の動きを紹介する。 ・現在、教員にはどのような ICT 活用指導力が求められているのかを紹介する。	15 分	説明	・プレゼン
9	ICT 先進地の事例紹介	・学習形態毎の先進事例を紹介する。	15 分	説明	・プレゼン
10	ICT を活用した授業の活用ポイント	・目的や整備段階に応じた授業における ICT の活用ポイントについて解説する。 ・ICT 機器を教育的効果につなげるポイントについて実例	30 分	模擬授業 解説	・プレゼン

プログラミング教育に対応した研修講座も準備しています！

◆新学習指導要領(小学校)の目玉の一つは、プログラミング教育の導入です。これは将来のプログラマーを育てることを目指しているのではなく、論理的思考力であるプログラミング的思考力を育てることを目指して導入されるものです。現在の小学校の多くでは、道徳や英語への対応で大変な時期にあると思います。そうした中でのプログラミング教育の導入ですから、中には後回しになっているという学校様もあるということ聞いております。

◆そこで、弊社ではプログラミング教育に関する研修講座も計画し、学校現場をサポートできるようにしていきます。そのポイントは、前述の研修会と同様に民間の企業だからこそできる内容で組み立てた研修会を開催することです。例えば、シム内蔵の携帯端末を持っただき、新しい教科書に掲載されているプログラミング教材を実際に体験してもらうことであったり、ロボット型教材のプログラミングを立てさせたりして実際に動かしてみる体験をしてもらうことです。多くの実物教材に触れることは、現場の先生方の授業づくりをサポートできるものと考えています。

	講座名	主な内容	所要時間	形態	教材
プログラミング教育に関する研修項目					
1	プログラミング教育概論	・プログラミング教育の目標や内容についての基本的知識を紹介する。プログラミング的思考	15 分	説明	・プレゼン ・『プログラミング教育の手引き』
2	プログラミング授業づくりのポイントと実際	・教科書に位置づけられたプログラミング教材の活用方法をもとにビジュアル型プログラミング言語による授業づくりのポイントについて、参加者による体験と模擬授業で紹介する。	30 分	模擬授業 体験	・プレゼン ・新しい教科書 ・スクラッチ ・ブロック ・ビジュアル型プログラミング言語
3	プログラミング授業の発展	・さまざまなプログラミングの授業づくりを通して、どんな場面・どんな教科等で子供の情報活用能力の伸ばし方について演習を通して考えてみる。	45 分	演習	・プレゼン
4	プログラミング教材の紹介と体験	・参加者が、プログラミング教材を実際に体験することで、プログラミング教育の楽しさや可能性について実感する。	60 分	体験	・ロボホン ・スフィロ ・Mesh ・マイクロビット
5	プログラミング教育と学級経営	・プログラミング教育の実践が授業ばかりでなく、子どもの可能性を引き出すことを解説する。	15 分	説明	・プレゼン
6	プログラミング教育の最先端	・今後求められている STEAM 教育の実践について模擬授業形式で紹介する。	30 分	模擬授業 解説	・プレゼン ・アート ・センサー ・STEAM 教育に関する実験道具